

www.foro.jp

foro フリースクール フォロ News Letter

残暑お見舞い申し上げます。

フォロはこの6月に、第3回の通常総会を開きました。今総会では草創期から運営を担ってくださった役員の方のうち多くが退任されることになり、今までの思いを語っていただきました。いたらなかったところは真摯に受けとめ、これからも子どもたちの居場所としての足下をしっかりと見すえてやっていきたいと思えます。支えていただいたみなさん、どうもありがとうございました。そしてこれからも、応援をよろしくお願ひします。

2004年8月25日
特定非営利活動法人フォロ
代表理事 花井紀子



夏だ! 海だ! (南紀白浜にて)

親にとってのフォロ

深田 恭子

フォロは、不登校の子どもにとっての居場所であり、たとえ、あまり通うことができなくてもフォロにつながっていると思えることは、不登校の子どもにとって安心できることだと思います。子どもと同じように、親にとってもフォロは大切な場所です。

フォロでは、月に1回「ほっとサロン」という親の会があります。親である私の話を否定されることなく聞いてもらえたり、ほかの親の方の話をいろいろ聞かせてもらえたり、スタッフの方からもいろいろな話を聞かせてもらえます。みなさん、不登校について経験されている方ばかりなので、親の気持ちも理解してもらえ、私も今まで気がつかなかったことに気がついたり、子どもの気持ちを少し理解できるようになりました。そんななか、本当に学校は、どうしても行かなければならないのかなど、少しずつ考えることができるよ

うになりました。不登校は、親もしんどいけど、子どもは、もっとしんどいのだと思えるようにもなりました。そして、不登校の子どもにとって、親がわかってくれるということは、とてもうれしことだということも感じました。最初は、子どものためと思って参加していた「ほっとサロン」ですが、何回か参加するうちに自分のために参加していると思うようになったのです。フォロに出会って、子どもより私のほうが成長したのかもしれない。

まだ、一般的には、学校へ行けなければ、その子どもを理解されることはなく、学校へ行けるように指導されることがほとんどですが、どうしても学校へ行けなくなった場合、大切な子どもの時間をとらいことばかりで過ぎてしまうことは、とても残念なことです。

だから、フォロに出会えて本当によかったと思えるし、スタッフの方やほかの親の方とのつながりは、とても大切だと思うのです。

最近のフォロは

日常のスペースには、毎日10人前後のメンバーが来て、ゲーム、ピアノ、パソコン、音楽を聴く、おしゃべり、ハンドクラフト、かくれんぼ、いろんな企画の相談などをしてすごしています。数人しかいない日でも、めいめいが自分の落ち着く場所でやりたいことをしてすごすという感じです。おたがいのすごし方やペースを大事にしています。

アニメづくり

プログラムとして、一時期、盛り上がり、なかなか秀逸な作品が続出していたのが「アニメづくり」の連続講座です。小麦粉ねんどでそれぞれが自分の好きなキャラクターや設定を考え、クレイアニメとしてコマ撮りしていくのですが、「NHKに売れるんじゃない?」と言えるくらいのできばえでした。

暑い夏には

また、とにかく暑い毎日だったので、高槻の溪流に二度も川遊びに行ったり、「とにかく海に行きたい!」と白浜に日帰りで行ったりしました。今春から小中学生の男の子たちが新たにメンバーに加わったことで、こういった活動に活気が加わりました。

東京に行こう

春以降、進学などで、わりと多くのメンバーが辞めたり、あまり来なくなったりして、ミーティングも持ちにくくなり、「フリースクールって、難しいなあ」という話もずいぶん出ました。一方で、6月くらいから少しずつ流れが変わってきて、新たな企画も持ち上がり始めました。夏の終わりには、「大阪じゃできないことをしに東京に行こう」と準備中で、ミーティングを重ねています。新しいメンバーから「お泊まり会がしたい」「宴会がしたい」など、あらかじめ準備が必要な企画の希望も出され、世代交代の時期でもあるのかなと感じる今日このごろです。



フリースペースSAKIWAIと交流



ダシにこだわり! たこやき大会



ブックトークの時間



溪流あそび(摂津峡にて)

子どもアンケート

今回は、メンバーにアンケートを採って、寄せてくれた回答をみなさんにご紹介することにしました。質問の内容は2つです。

①フォロのどんなところが好きか、教えてください。

- ・好きな時間に行ける (14歳・女/2年10カ月)
- ・いろんな物で遊べるとこ (12歳・男/8カ月)
- ・講座に出る、出ない。企画に参加する、しないなど、自分で決められるところ (17歳・女/2年1カ月)
- ・いつでも来れて、来なくても良いところ。同年代の人たち以外のスタッフの人たちの話も聞ける。時事講座が面白い。年齢が小さな子たちもいるので、私としては居やすい。(16歳・女/2カ月)
- ・ゆみちゃん(スタッフ)が、いるから、好き。みんな、友達もやさしい。(16歳・女/1カ月半くらい)
- ・いつ来てもいい (14歳・男/2年6カ月)
- ・なし (16歳・男/2年8or9カ月)
- ・自由なところ (12歳・男/1カ月)
- ・友だちとかおもしろい。(11歳・女/1年2カ月)

②フォロにいて、「しんどいなあ」「こんなところがイヤだ」「もっとこうしたい(こうなってほしい)」と思うことがあれば、教えてください。

- ・今のところナイ (14歳・女/2年10カ月)

- ・料理などを作りたい (12歳・男/8カ月)
- ・小さなことは、いろいろあるが、とくになし(17歳・女/2年1カ月)
- ・何か企画を自分で考え、企画を進めてみたい(けど、まだはっきりとは企画は思い付かない)。いろいろな人(芸能人など)に会って話を聞いてみたい。今の世界の状況(テレビで流れているものだけでなく)や他の国の教育がどんなものか知りたい。(16歳・女/2カ月)
- ・フォロについて、しんどいところは、あまり、自分にとって、学べてないところかな? なんでかわからないけど、いま、こんなふうに、フラフラ自分がしているのかわかりません。自分は、あまえるみたいで…あまり、たのしい場所では、ありません(正直) (16歳・女/1カ月半くらい)
- ・スタッフがうっとうしいです。(16歳・男/2年8or9カ月)
- ・かとうさんの話がながい(うっとうしい) (12歳・男/1カ月)
- ・こうざとか、さいきんつまんない。いてて「みっちゃおもしろい!!!」ってことがあんまりない。(11歳・女/1年2カ月)

※ ()の中は、年齢、性別、フォロ歴、の順。書いてくれた文のままで載せました。

Talk-inフォロについて

フリースクールや不登校、教育について関心のある方たちとの意見交流の場として始めたTalk-inフォロですが、気がつけば、この9月でちょうど2年たちました。毎月1回ですので、数えてみたら今年7月までに21回、開いていました。

学生さん、親の方、ボランティアの方、学校の先生、子どもなど、この間、じつにさまざまな方が参加してくださりました。常連の方もいらっしゃいますが、毎回、初めての参加の方がいらっしゃいます。人数は平均して十数名ほど。

テーマも毎回さまざま、最近では、個性について、ネクラについて、学歴のいらない職業について、フリースクールをめぐる現状についてなどがテーマになりました。

立場のちがう人たちどうしが、ざっくばらんに意見交換ができるのは、とても楽しい時間です。抽象



Talk-inフォロのようす

的な議論というよりは、なるべく自分たちの経験に引き寄せて、おたがいに考え合うことのできる時間にしたいと思っています。

次回は9月17日(金)、午後6時30分～、テーマは「家族」についてです。どなたでも参加できますので、自由にご参加ください。(山下耕平)

「子どもの場でしょ」…?!

11年前に初めてフリースクールに関わったときには想像すらもしなかったのですが、フリースクールにつながっていることは、常に「自分はどこに足場を置いて生きていくの?」「自分の本音からハズれてない?」という問いと向き合うことになると感じています。とくに最近、そんな思いが強くなりました。そして、これはなかなかしんどい作業だとも思います。「フリースクールって子どもの場でしょ」……当初そんなふう考えていた私にとっては、この問いは思いがけなく大きな存在です。

私の日中は、フォロで子どもたちから話を聞いたり、いっしょにおしゃべりしたり、いろいろな企画のミーティングを持ったり、そして電話の対応や懇談などで、あっという間に飛んでいってしまいます。とても充実した時間です。が、夜寝るときには「私はココで何をしたいの?」と考えています。「子どものため」とか「不登校への社会の理解を広めるため」とかのタテマエを元に考えてしまうと、なにかしらのゴマカシが入ってしまいそうな感じで力が出ません。これに加えて、もうじき4歳になる私の子どもが去年から「もう保育園に行かない」と言い、いっしょにフォロに出る日常が始まって以降は、いっそう、この問いは私に迫ってきます。世間一般から「ハンディ」と見なされやすい状況——たとえば不登校や小さい子と暮らしながら仕事をする——は、ともすれば「たいへんなこと、つまり解決すべきこと」というまなざしで見られてしまいます。でも、それは



懐かしい再会—OB・OGと過ごす日

まわりが決めることではなく、「当人がどうしたいか」に尽きると思います。

見方をひっくり返して、やりにくくても、「その状況」とともに生きていくことに希望が見出せる世の中にしたい、と押し寄せる波にさらわれそうになりながら、試行錯誤の毎日でもあります。どんな「ハンディ」を持っていても、どんな自分であっても、その存在を「こんなのもアリでしょ」と、まわりにもいっしょに引き受けてもらって生きあっていけたらいいなと思います。

フォロが、関わる人ひとりひとりのそんな思いの拠点になればいいなと、考えています。

(花井紀子)

フォロを応援してください

フォロは、運営費のほとんどを子どもたちの家庭からの会費でまかっています。しかし、家賃と人件費の負担が大きく、子どもたちの活動を十分に展開できていません。「よし、応援しよう!」という方、ぜひNPO会員か支援会員になって、私たちを支えてください。また、すでに会員でいてくださる方は引き続きの応援をお願いします。フォロはまだ設立して3年ですが、ときどき、ひょっこりとOBやOGたちが立ち寄ってくれるようになりました。そんなとき「今日までこの場をやってこれてよかった」と、支えていただいているありがたさを思います。これからも、応援をよろしくをお願いします。

◎郵便振替口座 00900-1-25564

加入者名 フォロ

譲ってください

スリッパ、ガラスコップ、マグカップ、わりばし、スーファミ、ファミコン、プレステのソフトと本体(もちろん中古可)

メルマガあります

フォロでは、どなたでも登録していただけるメールマガジンを月に1回ほど配信しています。Talk-inフォロのようすや、今後の予定などをお届けしています。フォロのHP(下記)から登録できます。

Foro News Letter 第8号

発行日 2004年8月25日

発行者 特定非営利活動法人 フォロ
〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-1-3

TEL06-6946-1507 FAX06-6946-1577

mail to: info@foro.jp

URL <http://www.foro.jp>